

**脱炭素先行地域（第7回）選定時
脱炭素先行地域評価委員会からの講評に係る対応状況**

銚子市

令和8年5月

資料目次

○選定時講評

○各取組の内容

- ① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組（漁獲）
- ① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組（漁獲）
- ① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組（保管）
- ① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組（加工）
- ① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組（販売）
- ② デマンドレスポンスへの参画施設の確保に向けた取組
- ③ 基金の活用に係る取組
- ④ 陸上・洋上風力に係る人材育成や関連産業の創出に関する取組

選定時講評

脱炭素先行地域（第7回）選定時講評を踏まえて、銚子市に提示された課題や指摘事項に対する対応状況について、本資料において示すものとする。

脱炭素先行地域評価委員会からのコメント

①漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組、②デマンドレスポンスへの参画施設の確保に向けた取組、③基金の活用に係る取組、④陸上・洋上風力に係る人材育成や関連産業の創出については、市及び各共同提案者等で一体となって、一層の具体化を図ることが重要。各取組の内容について、実施事項及び体制、並びにスケジュールを含め可能な限り計画を精緻化し、2026年5月末までに委員会へ報告すること。

各施策の推進体制等(共通)

各施策の具体的な実施内容、達成目標、実施行程、数値目標等については、今後設置予定の銚子市脱炭素先行地域推進コンソーシアム(共同提案者で組織)の下部組織であるプロジェクトチームを発足(令和8年6月下旬から7月中旬頃実施予定)させ、決定していく。

推進体制については、実施主体(主な連携主体)を中心に実行し、プロジェクトチームやコンソーシアムで進捗状況の共有を行う。

① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組(漁獲)

【実施事項】

- ・省エネ操業や創業効率化に係る機器を導入し燃油費等のコストを削減を図る。
- ・ブルーカーボンを活用したクレジット創出に向け、調査、研究を実施する。
- ・ブルーカーボン実証を継続し、魚種や漁獲量のモニタリングを実施する。
- ・MSC認証の取得に向けた調査・研究を実施する。

【実施体制】

No.	取組内容	実施主体(主な連携主体)	備考
1	漁船の省エネ操業(効率的な燃料使用)	銚子市漁業協同組合(銚子市)	
2	DXやAIを活用したスマート漁業	銚子市漁業協同組合(銚子市)	
3	ブルーカーボンを活用したクレジット創出	銚子市漁業協同組合(銚子漁業共生センター、銚子市)	
4	ブルーカーボン創出と魚種の多様性等の増加	銚子市漁業協同組合(銚子漁業共生センター、銚子市)	モニタリングは4半期ごとに実施
5	MSC認証の取得に向けた調査・研究	事業承継・創業支援ラボ(銚子市、銚子市漁業協同組合)	

【スケジュール】

No.	取組内容	詳細	R8				R9以降	
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	漁船の省エネ操業	ア 漁場の探索時間の削減や水揚げ作業の効率化による燃油費等コストの削減		銚子漁協へのヒアリング実施	浜の活力再生プラン(水産庁)等に基づいた事業推進	→		
2	DXやAIを活用したスマート漁業	ア スマート化推進支援事業等(国補助)を活用した創業効率化に係る機器導入		銚子漁協へのヒアリング実施	浜の活力再生プラン(水産庁)等に基づいた事業推進	→	補助制度活用検討	
3	ブルーカーボンを活用したクレジット創出	ア ブルーカーボン実証	アラメ藻場造成、ワカメ、コンブの養殖	→			→	継続実施(順次拡大)
		イ クレジット化の検討、実装		申請予定(※)				継続実施
4	ブルーカーボン創出と魚種の多様性等の増加	ア ブルーカーボン実証、魚種や漁獲量の確認・モニタリング	継続実施(順次拡大)	→			→	継続実施(順次拡大)
5	MSC認証の取得に向けた調査・研究	ア 調査・研究の実施	事業承継・創業支援ラボとの打合せ	調査・研究	→		→	認証取得
		イ 大学や民間企業との連携						大学や民間企業との連携

※申請は年1回のため、本年度間に合わない場合は翌年に向け準備

① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組(保管)

【実施事項】

- ・冷凍・冷蔵施設の冷熱需要を制御する仕組み「魚でレスポンス(デマンドレスポンス)」を構築する。
- ・風車由来の再生電力を供給するため、アンケート、ヒアリング、説明会等を実施する。
- ・アンケート、ヒアリング等課題の把握、支援策を検討する。

【実施体制】

No.	取組内容	実施主体(主な連携主体)	備考
1	魚でレスポンス(DR)の導入	Freezo、銚子市(水産事業者、銚子再生電力会社、小売電気事業者)	
2	風車由来の再生電力の供給	小売電気事業者、銚子市(水産事業者)	
3	市場内運搬車両のEV化	水産事業者(銚子市)	
4	DXによる業務効率化	水産事業者(銚子市)	
5	最適な温度管理による長期保存(消費期限の延伸)	水産事業者(銚子市)	

【スケジュール】

No.	取組内容	詳細	R8				R9以降
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	魚でレスポンス(DR)の導入	ア DR技術実証、再生電力供給体制準備			DR技術実証	→	R11再生電力供給準備
		イ 導入方針策定・合意形成					R9方針策定・合意形成
		ウ 小売電気事業者と再生電力メニューの検討、説明会開催					R9～メニューの検討、説明会開催
2	風車由来の再生電力の供給	ア アンケート、ヒアリングの実施、説明会開催、戸別訪問			アンケート・ヒアリング内容の検討	アンケート・ヒアリング実施	R9～説明会開催、戸別訪問
		イ 電力供給					R12～順次拡大
3	市場内運搬車両のEV化	ア アンケート、ヒアリングの実施、課題の把握、支援策の検討			アンケート・ヒアリング内容の検討	アンケート・ヒアリング実施、課題の把握	R10補助制度の検討
4	DXによる業務効率化	ア アンケート、ヒアリングの実施、課題の把握、支援体制構築、補助制度の検討			アンケート・ヒアリング内容の検討	アンケート・ヒアリング実施、課題の把握	R10支援体制構築、補助制度の検討
5	最適な温度管理による長期保存(消費期限の延伸)	ア 魚でレスポンスの導入スケジュールに合わせた設備導入促進					R10～設備導入促進
		イ 支援体制構築・補助制度の検討				支援体制の検討	R9～支援体制の構築

① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組(加工)

【実施事項】

- ・風車由来の再エネ電力を供給するため、アンケート、ヒアリング、説明会等を実施する。
- ・アンケート、ヒアリング等課題の把握、支援策を検討する。

【実施体制】

No.	取組内容	実施主体(主な連携主体)	備考
1	加工ラインの脱炭素化(再エネ電力供給)	電力小売り事業者(銚子市、水産事業者)	
2	運搬車両のEV化	水産事業者(銚子市)	
3	DXによる業務効率化	水産事業者(銚子市、脱炭素地域推進コンソーシアム、事業承継・創業支援ラボ)	

【スケジュール】

No.	取組内容	詳細	R8				R9以降
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	加工ラインの脱炭素化(再エネ電力供給)	アンケートの実施、説明会の開催、戸別訪問			アンケート内容の検討	アンケート実施	R9～説明会開催 戸別訪問
		供給開始					R12～順次拡大
2	運搬車両のEV化	アンケート、ヒアリングの実施、課題の把握、支援策の検討、補助制度の検討			アンケート・ヒアリング内容の検討	アンケート・ヒアリング実施、課題の把握	R10補助制度の検討
3	DXによる業務効率化	アンケート、ヒアリングの実施、課題の把握、支援体制構築・補助制度の検討		事業承継・創業支援ラボとの協議	アンケート・ヒアリング内容の検討	アンケート・ヒアリング実施、課題の把握	R10支援体制構築、補助制度の検討

① 漁獲、保管、加工及び販売の各段階におけるサステナビリティの向上を図る取組(販売)

【実施事項】

- ・事業承継案件における脱炭素経営支援を通じ、製品開発、メニュー開発支援、販路展開、販売強化支援を実施する。
- ・地元高校や大学と連携し、ブルーカーボンによるコンブやワカメの活用した製品開発を行う。
- ・CFP認証付き製品の展開を見据え、調査、研究を実施する。

【実施体制】

No.	取組内容	実施主体(主な連携主体)	備考
1	事業承継での製品開発・メニュー開発	事業承継・創業支援ラボ(水産事業者、銚子市)	
2	事業承継後の販路展開・販売強化支援	事業承継・創業支援ラボ(水産事業者、銚子市)	
3	高校生や大学生と連携したブルーカーボンによるコンブやワカメを活用した製品開発	事業承継・創業支援ラボ(水産事業者、銚子市)	
4	CFP認証付き製品の展開を見据えた調査・研究	事業承継・創業支援ラボ(銚子市)	
5	市内の水産加工業協同組合等と連携した更なる販路拡大	銚子市	

【スケジュール】

No.	取組内容	詳細	R8				R9以降
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	事業承継での製品開発・メニュー開発	事業承継案件における脱炭素経営支援を通じた製品開発、メニュー開発支援		事業承継・創業支援ラボとの協議		支援策検討	R9～民間事業者との連携模索、支援
2	事業承継後の販路展開・販売強化支援	事業承継案件における脱炭素経営支援を通じた販路展開・販売強化支援		事業承継・創業支援ラボとの協議		支援策検討	R9～民間事業者との連携模索、支援
3	ブルーカーボンによるコンブやワカメを活用した製品開発	高校や大学と連携したコンブやワカメを活用した製品開発、PR支援、販路支援	ワカメ・コンブの収穫	広報・PR支援	ワカメ種苗設置		ブルーカーボン事業の継続、販路支援等
4	CFP認証付き製品の展開を見据えた調査・研究	事業承継・創業支援ラボと水産加工組合、大学、民間企業と連携した調査・研究	事業承継・創業支援ラボとの協議	CFPの調査・研究	→		CFP認証取得
5	更なる販路拡大	ヒアリングの実施、対応策の検討			ヒアリング内容検討	水産加工組合へのヒアリング実施	R10～対応策の検討
		民間事業者とのマッチング支援、補助制度創出、現制緩和等による販路拡大支援					R10～支援、補助制度創出

② デマンドレスポンスへの参画施設の確保に向けた取組

【実施事項】

- ・冷凍・冷蔵施設の冷熱需要を制御する仕組み「魚でレスポンス(デマンドレスポンス)」を構築する。
- ・変動性のある風力発電の効率的運用(変動リスク低減)とエネルギーコスト低減を実現する。
- ・2030年度までに、冷凍・冷蔵施設への「魚でレスポンス(デマンドレスポンス)」について12件の実装を目指す。

【実施体制】

No.	取組内容	実施主体(主な連携主体)	備考
1	DR本格導入 DR合意形成	Freezo(銚子市、関電工)	
2	DR本格導入 DR設計	Freezo(関電工)	
3	DR本格導入 DR工事	Freezo(関電工)	
4	DR本格導入 DR運用	Freezo(関電工)	
5	エネマネ統合型DR導入 統合型エネマネ設計(蓄電池も統合)	銚子再エネ発電会社(エクセルギー・パワー・システムズ、Freezo、関電工)	エネマネのシステム(監視・制御装置)の設計
6	エネマネ統合型DR導入 統合型エネマネ工事(蓄電池も統合するが、蓄電池設置工事は除く)	銚子再エネ発電会社(エクセルギー・パワー・システムズ、Freezo、関電工)	エネマネの付帯設備(監視・制御装置)の設置

【スケジュール】

No.	取組内容	詳細	R8				R9以降
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	DR実証・効果検証	ア 実証に関する覚書締結、共同研究契約締結	覚書締結				
		イ システム開発・導入工事			システム開発・導入工事		→R9
		ウ 実証、効果検証			実証・効果検証		→R9
2	DR本格導入、DR合意形成	ア 需要家選定(十数社、契約電力50kW以上)					R9需要家選定
		イ 説明会開催、需要家訪問					R9説明会開催、訪問
3	DR本格導入、DR設計	ア 契約締結					R9契約締結
		イ DR設計・システム構築					R9設計、構築
4	DR本格導入、DR工事	ア 需要家との契約締結、工事契約締結、資機材手配、現地導入工事					R9～契約締結、資機材手配
5	DR本格導入、DR運用	ア 運用・検証					R10～運用・検証
6	エネマネ統合型DR導入 統合型エネマネ設計	ア 契約締結					R11契約締結
		イ エネマネ設計・システム構築					R11設計、構築
7	エネマネ統合型DR導入 統合型エネマネ工事	ア 工事契約締結					R12契約締結
		イ 現地導入工事					R12導入工事

③ 基金の活用に係る取組

【実施事項】

- ・銚子ブルーエコノミー(ブルーカーボン、洋上風力との共生型漁場形成、洋上風力発電メンテナンス会社(C-COWS)によるメンテナンス人材の育成事業)へ再投資し、経済・環境・社会のサステナビリティが循環する仕組みを確立する。
- ・脱炭素経営に資する再エネ・省エネ導入への補助を検討する。

【実施体制】

No.	取組内容	実施主体(主な連携主体)	備考
0	投資先、投資額の決定	銚子市(銚子漁業共生センター、銚子市漁業協同組合、C-COWS)	2030年度中に決定
0	地域共生に関する協定書(仮)締結	銚子市(銚子再エネ発電会社)	発電事業の確実な実施と地域共生策(収益の一部を寄付)実施の担保
1	ブルーエコノミー事業への再投資	銚子漁業共生センター(銚子市、銚子市漁業協同組合、C-COWS)	
2	脱炭素経営に資する再エネ・省エネ導入への補助の検討	事業承継・創業支援ラボ(銚子市)	

【スケジュール】

No.	取組内容	詳細	R8				R9以降
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	ブルーカーボンエコノミーへの再投資	ア ブルーカーボンの取組、ワカメ・コンブ養殖による地域産業振興	アラメ藻場造成、ワカメ、コンブ養殖	収穫したワカメの活用検討			継続実施
		イ 洋上風力との共生型漁場形成	モニタリング調査(1回)	モニタリング調査(1回)	モニタリング調査(1回)	モニタリング調査(1回)	継続実施
		ウ C-COWSによるメンテナンス人材育成	高卒採用(1名)			インターンシップの受入れ(3月)	継続実施 目標:毎年1名採用
2	再エネ・省エネ導入への補助の検討	ア 脱炭素を切り口とした承継・創業支援や、農業・水産業の脱炭素経営支援		事業承継・創業支援ラボとの打合せ			R9～支援策の検討
		イ 再エネ・省エネ導入への補助の検討		事業承継・創業支援ラボとの打合せ			R11補助制度の検討

④ 陸上・洋上風力に係る人材育成や関連産業の創出に関する取組

【実施事項】

- ・設計、建設時において、サブコンに地元企業の起用を検討する。
- ・日本風力開発グループのイオスエンジニアリング&サービス社の教育センターにて導入教育の実施、及びグループ内の既存風力発電設備での点検OJTを実施する。
- ・C-COWS、地元高等学校と連携した人事育成、環境教育プログラムを実施する。

【実施体制】

No.	取組内容	実施主体(主な連携主体)	備考
1	風力発電の設計、建設、運転、メンテナンスに関わる地元人材を育成	銚子再エネ発電会社(銚子市、イオスエンジニアリング&サービス)	
2	C-COWSと連携した人材育成	C-COWS(銚子市)	
3	教育機関と連携した人材育成プログラム、環境教育プログラムの実施	C-COWS(銚子市、銚子商業高等学校等)	

【スケジュール】

No.	取組内容	詳細	R8				R9以降
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	風力発電の設計、建設、運転、メンテナンスに関わる地元人材を育成	ア サブコンに地元企業を起用し、事業機会を提供することで地元人材を育成					地元企業の起用検討、人材育成、目標:4名採用
		イ 教育センターにて導入教育、グループ内の既存風力発電設備での点検OJTの実施					R10~導入教育、OJT
2	C-COWSと連携した人材育成	ア 地元高等学校を対象とした出前授業の実施	出前授業実施に向けた高校との打合せ		地元高校での出前授業実施(10月)		継続実施 目標:毎年1名採用
3	教育機関と連携した人材育成プログラム、環境教育プログラムの実施	ア インターンシップの受入れ		地元高校への説明(3校)		インターンシップの受入れ(3月)	継続実施